

環境活動レポート

2008 年度版

期間：2008 年 5 月～2009 年 4 月

2009 年 6 月 9 日

株式会社長門屋商店

東陽営業・物流センター

(略称 東陽センター)

1 会社概要

【名称】 株式会社 長門屋商店 (ながとやしょうてん)
 【代表者】 代表取締役 横溝 純一

 【創業】 1947年
 【設立】 1953年12月
 【資本金】 1000万円
 【従業員数】 20名 (就業する役員を含む)

 【業務内容】 紙製品の製造及び卸売業・文具小売業・賃貸業

 【E A 2 1 取組事業所】 東陽営業・物流センター [製造・卸売・物流]
 (略称 東陽センター)
 〒135-0016 東京都江東区東陽1-3-3
 TEL 03-5690-7131(代) FAX 03-5690-8010
 従業員: 14名

 【環境管理責任者】 営業部 中島 淳

 【その他の事業所】 本社 [総務・経理・賃貸]
 〒106-0045 東京都港区麻布十番1-5-25
 TEL 03-3401-8203(代) FAX 03-3401-9745
 文具小売部 [当社製品及び文具類の店舗販売]
 TEL/FAX 03-3403-5619

 【ホームページ】 <http://www.nagatoya.com>
 【事業規模】

	2005年5月 ~2006年4月	2006年5月 ~2007年4月	2007年5月 ~2008年4月	2008年5月 ~2009年4月
売上高(万円)	32,119	34,037	37,614	40,830
従業員数	14人	14人	14人	14人

2 環境方針

< 基本理念 >

当社は、紙加工品の商社として、「紙から始まるコミュニケーション」をテーマにし、環境に配慮した製品の開発・拡販を基本に、環境配慮企業として手本となるような循環型社会形成に寄与する企業活動を展開して参ります。また、日常推進事項として以下に掲げる項目を継続的な環境配慮活動として取り組んで参ります。

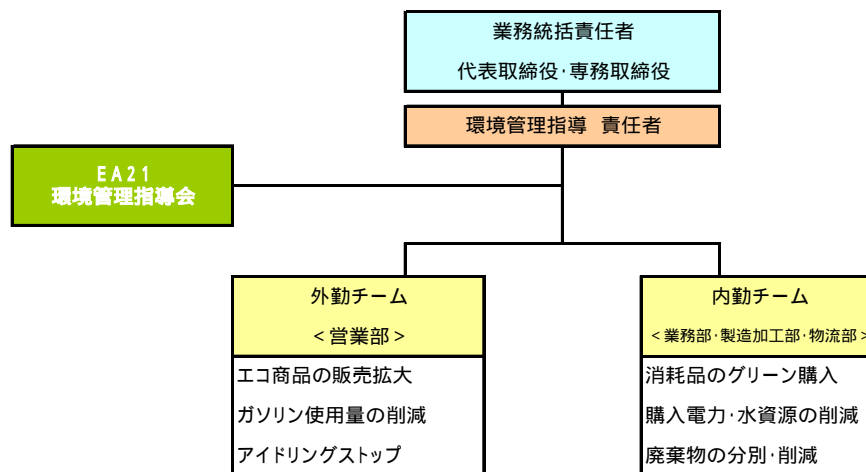
< 活動指針 >

- 1 環境にやさしい商品づくり
 - ・環境に配慮した新商品を積極して開発して参ります。
 - ・商品の包装や資材などを見直し環境負荷軽減に努めます。
 - ・商品の売り上げの一部を森林保護活動の為に役立てます。
 - ・効率的な在庫管理をし、入出庫などに関わる物流エネルギーの削減に努めます。
- 2 省エネルギー
 - ・資源やエネルギーの消費における環境負荷を認識し、限りある資源の保全に努めます。
- 3 廃棄物削減と汚染防止
 - ・資源固有の特性を有効に活用し、廃棄物の抑制に取り組み環境汚染の防止に努めます。
- 4 関連法規制順守
 - ・企業活動に関する環境関連法規・条例・規制等を順守します。
- 5 グリーン購入
 - ・日常業務において使用する社用品にはグリーン製品を積極的に使用します。
- 6 環境活動に関する継続的持続
 - ・環境負荷に関する内容をデータ管理し、目標を設定し継続的に持続達成に努めます。
- 7 環境活動の公表
 - ・環境活動の計画及び実施状況を「環境活動レポート」としてとりまとめ公表致します。

2007年4月1日
株式会社長門屋商店
代表取締役 横溝 純一

ver2.0

3 エコアクション21推進体制(東陽センター)



4 環境目標・主要な活動計画と実績、及び評価

<今レポートより、年度表記といたしました>
 年度は当年5月～翌4月までとします。(例 2008年度:2008年5月～2009年4月)

環境目標一覧

目標		目標数値	
減	単年	2008年度の売上高100万円当たりの購入電力	2007年度比2%削減
	長期	2006,2007,2008年度の3期で	2005年度比6%削減
	単年	2008年度の売上高100万円当たりのガソリン使用量	2007年度比2%削減
	長期	2006,2007,2008年度の3期で	2005年度比6%削減
水使用量の削減	単年	2008年度の水の使用量	2007年度比2%削減
	長期	2006,2007,2008年度の3期で	2005年度比10%削減
廃棄物の排出量の削減	単年	2008年度の廃棄物排出量	2007年度比1%削減
	長期	2006,2007,2008年度の3期で	2005年度比3%削減
環境対応商品の売上比率アップ	単年	2008年度的环境対応商品の売上比率	2007年度比1%アップ
	長期	2006,2007,2008年度の3期で	2005年度比3%アップ

総エネルギー投入量削減

総購入電力量の削減

単年目標 2008年度の売上高100万円当たりの購入電力を前年比2%削減する。

長期目標 2006,2007,2008年度の3期で2005年度比6%削減

取組

室温コントロール 夏季28℃、冬季22℃とする。

サーキュレーターによる室内循環 冷暖房効率向上

使用しない機器の待機電流をOFF又は省電力モードにする。

(プリンタ、パソコン、ウォシュレットほか)

使用しない場所の消灯を徹底する。

(廊下、通路、倉庫、休憩室、トイレ、洗面所)

昼休み消灯を徹底する。

長期取組

家電・OA機器の購入時は省エネ商品を選んで購入する。

実績

		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
計測期間		2005年5月 ~2006年4月	2006年5月 ~2007年4月	2007年5月 ~2008年4月	2008年5月 ~2009年4月
購入電力 実績	期間合計	20631kwh	18531kwh	19010kwh	20400kwh
排出CO2	期間合計	7799(kg-CO2)	7005(kg-CO2)	7186(kg-CO2)	7711(kg-CO2)
売上高100万円 当たりの 購入電力	目標			53.35kwh	49.53kwh
	実績	64.23kwh	54.44kwh	50.54kwh	49.96kwh
			2005年度比 15.24%減	2006年度比 7.16%減	2007年度比 1.14%減
					2005年度比 22.21%減

売上高100万円当たりの購入電力:[期間電力量(kwh)÷期間売上計(円)×1,000,000]

ガソリン使用量の削減

単年目標 2008年度の売上高100万円当たりのガソリン使用量を前年比2%削減する。

長期目標 2006,2007,2008年度の3期で2005年度比6%削減

取組

エンジンブレーキ使用(ガソリンの噴射がストップします)

過剰にエアコンを使用しない。

急加速・急停車・空ぶかしをしない(特に発進は重要です)。

駐車時のアイドリングストップ(東京都の条例)。

車両整備の徹底(空気圧適正・無駄積み禁止 燃費向上)。

定期的なオイル交換(3ヶ月に1回)。

長期取組

ハイブリッド車の導入(2010年頃までに1台)。

実績

		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
計測期間		2005年5月 ~2006年4月	2006年5月 ~2007年4月	2007年5月 ~2008年4月	2008年5月 ~2009年4月
給油量 実績	期間合計	17177L	15314L	14975L	14438L
排出 CO2	期間合計	39879(kg-CO2)	35554(kg-CO2)	34767(kg-CO2)	33520(kg-CO2)
売上高100万円 当たりの購入ガ ソリン量	目標			44.09L	39.02L
	実績	53.48L	44.99L	39.81L	35.36L
			2005年度比 15.87%減	2006年度比 11.51%減	2007年度比 11.18%減
					2005年度比 33.87%減

売上高100万円当たりのガソリン使用量: [期間ガソリン量(L) ÷ 期間売上計(円) × 1,000,000]

購入電力・ガソリン使用量合計での CO2 排出量

		2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度
計測期間		2005 年 5 月 ~ 2006 年 4 月	2006 年 5 月 ~ 2007 年 4 月	2007 年 5 月 ~ 2008 年 4 月	2008 年 5 月 ~ 2009 年 4 月
排出 CO2	実績	47678(kg-CO2)	42559(kg-CO2)	41953(kg-CO2)	41231(kg-CO2)
			2005 年度比 10.73% 減	2006 年度比 1.42%減	2007 年度比 1.71%減
					2005 年度比 13.52%減

評価

総購入電力の削減について

昨年と同様に購入電力量自体は増加しておりますが、単位換算では減少致しました。

長期目標におきましては、22.21%減と大きく削減に成功致しましたが、単年目標には僅かながら届かず、次年度におきましてはOA機器の配線が煩雑な部分も見受けられるので、使用状況、稼働状況などを今一度見直しまして、数値目標達成に取り組んでまいります。

・電化製品の入れ替え

冷蔵庫、電気ポットを最新の省エネのものにいたしました。

今年から冬場乾燥防止のため、消費電力の多い加湿器を2台稼働していました。

・効果

暖房便座はフタを閉じることによって省エネ効果があるとのこと実践しました。

・課題

一部、消し忘れが目立っているので、今一度引き締めてまいります。

ガソリン使用量の削減について

自社便配送での売上は減少傾向にあり、合わせてガソリン消費も減ってしまして単年目標、長期目標ともに数値達成に成功致しました。

また、それとは別の取組で、昨年課題に挙げた、商品を製造元からの直送するケースを増やし、間接的にCo2削減を実施しております。

・入れ替え

社用車の入れ替えが1台ありました。

・課題

アイドリングストップにまだ不足が見受けられますので、次年度は強化課題としまして徹底してまいります。

水使用量の削減

単年目標 2008年度水の使用量を前年比2%削減する。

長期目標 2006,2007,2008年度の3期で2005年度比10%削減

取組

バケツくみ置きによる洗車

節水コマ導入

長期取組

トイレ用擬音装置の導入

実績

		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
計測期間		2005年5月 ~2006年4月	2006年5月 ~2007年4月	2007年5月 ~2008年4月	2008年5月 ~2009年4月
上下水道	目標		197m ³	202m ³	188m ³
	実績	199m ³	204m ³	190m ³	192m ³
			2005年度比1.02%増	2006年度比6.86%減	2007年度比 1.01%増
					2005年度比 3.51%減

評価

単年目標に対しては増加、長期目標に対しては3.51%減と減少には転じておりますが、実情は2005年度から増減を繰り返しております。

洗車もそれほどしておらず、日常でのトイレやちょっとした洗い物程度での使用程度ですのでそれほど大幅な利用をしておりません。計算してみましたが

190,000リットル/年間 ÷ 250日(営業日) 760リットル/日 ÷ 14人

1人あたり54リットル/日です。トイレの回数でいうと3~4回程度なので平均的な利用度と考えます。

次年度に向けまして、先日水道局で無料配布している節水コマの取り付けを完了致しました。

また、雨どいから雨水の貯水も開始しまして、洗車や清掃に積極利用し、減少に努めたいと思います。

廃棄物の排出量の削減

単年目標 2008 年度廃棄物の排出量を前年比 1%削減する。

長期目標 2006,2007,2008 年度の 3 期で 2005 年度比 3%削減

取組

廃棄されていた、間紙・段ボールの再利用

実績

		2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度
計測期間		2005 年 1 月 ~ 2005 年 12 月	2006 年 10 月 ~ 2007 年 4 月 平均 × 12 ヶ月	2007 年 5 月 ~ 2008 年 4 月	2008 年 5 月 ~ 2009 年 4 月
可燃	目標			350.5kg	322.5kg
	実績	590.0kg	354.0kg	325.8kg	255.6kg
				2006 年度比 7.96% 減	2007 年度比 21.54%減 2005 年度比 56.67%減
不燃	目標			146.5kg	124.7kg
	実績	280.0kg	148.0kg	126.0kg	135.0kg
				2006 年度比 14.86% 減	2007 年度比 7.14%増 2005 年度比 51.78%減
2005 年度はゴミ処理券購入量による推測値					

段ボールについては、2007 年度までは計測していましたが、2008 年度から、有価物扱いとしてリサイクル業者に売却することとしました。

評価

自治体の収集ルールが変わり、可燃と不燃のバランスが変わりました。

また段ボールに関しては、有価物扱いで定額制で買い上げてもらうようになり、ゴミではなくなりましたので、計測を止めました。可燃と不燃をトータルで計算すると
前年度 451.8kg - 今年度計 390.6kg = 61.2kg 減(13.5%減)
と合計では目標を達成いたしました。

課題

包装資材の再利用などについて継続して取組み。

環境対応商品の売上比率アップ

単年目標 2008年度は前年比1%アップする。

長期目標 2006,2007,2008年度の3期で2005年度比3%アップ

取組

現行品の材料を環境対応品に転換

環境対応商品の新規開発

商品販売数に応じた環境団体への寄付活動

長期取組

全自社製品の環境対応商品化

実績

		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
計測期間		2005年5月 ~2006年4月	2006年5月 ~2007年4月	2007年5月 ~2008年4月	2008年5月 ~2009年4月
売上全体に エコ商品の 占める割合	目標			50.07%	49.45%
	実績	49.89%	49.58%	48.96%	51.59%
			前年比0.31%減	前年比0.61%減	2007年度比 2.62%増
					2005年度比 1.69%増

評価

今年度前半は前年度問題になった古紙配合率偽装問題の流れを汲んでおりましたが、それに反して、古紙配合率に乖離の無かった商品に売上が集中しました。また弊社商品の取り扱い先も増え、結果初めて、売上の過半数を超える結果となりました。

次年度では、新規取扱先でさらなる拡販が予想されるので、よい結果が期待できると思われまます。また、財団法人オイスカの推進する「子供の森」計画に、弊社商品の売上金の一部、約50万円を支援金としまして4月27日付で寄付致しました。今後も継続実施してまいります。

財団法人オイスカ「子供の森」計画 <http://www.oisca.org/project/cfp/>

課題

既存品の材質の見直しおよび商品の改廃の検討。

5 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

法規・条例	業務における順守事項	評価	
環境基本法 都民の健康と安全を確保する 環境に関する条例	環境への負荷の低減の取組 自動車公害対策(アイドリングストップ)		遵守
廃棄物処理法 東京都廃棄物条例	廃棄物処理業者の管理、分別廃棄の管理		遵守
容器包装リサイクル法	紙容器・プラスチック袋の使用状況の把握 商品包装への識別マーク表示 上記の包装資材の再商品化義務		遵守
下水道法	日常使用の範囲		遵守

備考

環境関連法規への違反はありません。

環境関連法規の遵守状況について定期的評価し、その結果問題はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反などの指摘及び地域周辺からの苦情は過去3年間ありません。

6 2009年度の環境目標 (2009年5月～2010年4月)

総エネルギー投入量削減

売上高 100 万円当たりの購入電力量の削減

今期目標: 前年比 2% 削減

長期目標: 2009,2010,2011 年度の 3 期で 2008 年度比 6% 削減

売上高 100 万円当たりのガソリンの使用量の削減

今期目標: 前年比 2% 削減

長期目標: 2009,2010,2011 年度の 3 期で 2008 年比 6% 削減

水使用量の削減

今期目標: 前年比 2% 削減

長期目標: 2009,2010,2011 年度の 3 期で 2008 年比 6% 削減

廃棄物の排出量の削減

今期目標: 前年比 1% 削減

長期目標: 2009,2010,2011 年度の 3 期で 2008 年比 3% 削減

環境対応商品の売上比率アップ

今期目標: 前年比 1% アップ

長期目標: 2009,2010,2011 年度の 3 期で 2008 年比 3% アップ

7 代表者による全体の総括

代表取締役 横溝純一

<p>評価</p>	<p>2007年7月にエコアクション21の認証を承け、昨年の中間審査を経て、私どもの本格的な環境活動も3年目を迎えようとしております。この間に多数の社員が「富士山の森づくり」植林活動へ2年連続で参加し、多くのボランティアの方々と共にブナやミズナラ、カエデなど約3000本の植林を体験して参りました。また社内においても年2回のエコミーティングを開催し、私たちに出来るエコ活動を話し合うなどエコ意識の浸透を図っております。更には、財団法人オイスカの「子供の森」計画の支援活動に取組み、当社製品の売上金の一部を本年4月27日に社員全員の立ち会いの下、支援金として寄付を致しました。</p> <p>また実質的な日々の環境活動に於いては、購入電力の削減について、業務上OA機器の所有台数が増加傾向にあるため購入電力は増加となりました。長期目標では大きな結果を得られたものの、単年目標では達成できませんでした。更なる努力を期待しております。</p> <p>ガソリンの使用量の削減について大きな効果を上げられ大変満足しています。近年の原油高の側面から経済的にも大変良い結果が得られたと思います。</p> <p>水使用量についてはなかなか削減が難しいようです。アイデアや工夫を凝らし今後の削減へ努めるよう指示致しました。</p> <p>環境対応商品の売上比率アップについては、昨年1月の古紙偽装問題を乗り越え、確実に上昇傾向にあります。これからも益々環境対応商品の開発と売上比率アップに力を注いで参ります。</p>
-----------	---